



令和2年度「原子力デコミッションング研究会」会員募集のご案内

当研究会は発足以来 23 年目を迎えることになりました。東日本大震災から 8 年 11 カ月、原子力発電所の運転再開に向けた取組みが進められる一方、2019 年 12 月現在、26 基の発電用原子炉（JAEA 施設を含む）が廃止措置段階に移行または恒久停止しています。

福島第一原子力発電所に関しては、国の「中長期ロードマップ」に基づき、東京電力、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）、国際廃炉研究機構（IRID）などが中心となって、国内外の関係企業が参画した廃炉プロジェクトが進められています。昨年 12 月には廃炉工程表が改訂され、燃料デブリ取り出し作業を 2 号機から着手すること、作業は 2021 年内に開始することが政府と東京電力から公表されました。本格的な廃炉作業（中長期ロードマップの第 3 期計画）が開始される時が近づいています。

近隣諸国をみると、台湾では金山原子力発電所（1・2 号機）が昨年より廃止措置の段階に移行し、韓国では古里原子力発電所（1 号機）、月城原子力発電所（1 号機）が恒久停止し廃止措置の準備に取り掛かっています。

事故炉の廃止措置と並行して、寿命を終えた原子力発電所の廃止措置も進めなければならない日本では、技術的課題に加えて、人材育成など社会経済的な面での考慮が必要です。廃止措置プロジェクトの安全で効率的な実施に備え、様々な分野の人材が協力し、わが国の総力を結集して事業に取り組むことが必要と考えます。政府も廃止措置に係る人材育成の重要性を認識し、様々な人材育成プログラムを進めています。

当研究会は JPDR の廃止措置完成を契機に創設された、人材育成を主たる目的とした民間の研究会であり、すでに 20 年を超える経験を有しています。廃止措置分野での技術者教育、国内と海外とを問わず、バックエンド分野での広範な人脈づくり・ネットワーク構築などの場として、当研究会へのご入会をお勧めする次第です。

原子力デコミッションング研究会 会長 石川 迪夫

令和2年度 原子力デコミッションング研究会 入会申込書

申込日 令和 2 年 月 日

ふりがな		
会員氏名	ご年齢 ()	
会社・団体名		
所属・役職名		
住所	〒	
TEL/FAX	TEL.	FAX.
E-mail		
【連絡欄】		

【年会費】(2020.4.1-2021.3.31) 1名:155,000円 2人目以降は1名:55,000円

◎毎月の定例研究会には会員の代理の方のご出席が可能です。

◎記載いただいた個人情報は、当研究会内部での使用に限ります。

★FAX、e-mailにて上記申込書をお送り下さい。ホームページからの申し込みも受け付け中です。

★入会申込書を受領次第、令和2年度実施要領一式および参加費ご請求書をお送りします。

【お問合せ】原子力デコミッションング研究会 <http://www.decomiken.org> 事務局・担当:市川
〒102-00731 東京都千代田区九段北 4-1-31 吉田ビル 401
TEL:03-6272-4150 FAX:03-6272-4470 E-mail:info@decomiken.org